

総合旅行業務取扱管理者試験受験手数料積算資料
(平成24年度決算で試算)

料金：6,500円

積算根拠 2,278円(人件費) + 4,278円(物件費) ÷ 6,500円

受験者予想人員15,400名と想定し、支出予算額の事業費計上科目毎に1名あたりの必要経費を算出した。

人件費：職員給与	26,358千円
福利厚生費	3,822千円
退職給与引当	1,830千円
その他管理費	3,070千円

計	35,080千円
---	----------

35,080千円 ÷ 15,400名 = 2,278円

物件費：会議・会場費	15,993千円
運営費	20,387千円
謝金	6,300千円
電算機システム費	10,000千円
旅費	887千円
印刷費	6,540千円
事務費	5,775千円

計	65,882千円
---	----------

65,882千円 ÷ 15,400名 ÷ 4,278円

総合旅行業務取扱管理者試験
試験科目免除者への割引料金の設定ができない根拠について

総合旅行業務取扱管理者試験において、科目免除者への受験料の割引の要望につき、平成24年度の予算で試算した結果、試験科目免除者の受験料は6,368円となった。しかしながら、以下の理由等により割引料金の設定は不可能であると判断した。

試験科目免除者の受験料を別途定めた場合、受験願書の受付事務において、

- (1) 受験料の金額の確認を行う時間の増加
- (2) 受験料の振り込み金額の誤りの処理にかかる時間の増加
- (3) 受験願書の書類作成に伴う印刷経費の増加

等が発生することが懸念され、これらの処理のため下記に掲げる経費が必要となる。

記

① 上記(1)にかかる増加時間数

$$* 15,400 \text{ 人} \times 1 \text{ 分} \times 2 \text{ 人 (2回)} \quad \rightleftharpoons \quad 513 \text{ 時間 (ア)}$$

② 上記(2)にかかる増加時間数

$$* 15,400 \text{ 人} \times 3\% = 462 \text{ 人}$$

$$* 462 \text{ 人} \times 5 \text{ 分} \quad \rightleftharpoons \quad 38 \text{ 時間 (イ)}$$

③ 受験願書の受付・審査に伴う増額経費

$$* 513 \text{ 時間 (ア)} + 38 \text{ 時間 (イ)} = 551 \text{ 時間}$$

$$* 551 \text{ 時間} \times 3,300 \text{ 円 (JATA研修部の平均時間単価)} \quad \rightleftharpoons \quad 182 \text{ 万円 (ウ)}$$

④ 上記(3)にかかる経費

$$* \text{受験料振込用紙作成経費} \quad 69 \text{ 万円 (エ)}$$

①～⑤の計算による1人分の増額経費

$$* (182 \text{ 万円 (ウ)} + 69 \text{ 万円 (エ)}) \div 15,400 \text{ 人} \quad \rightleftharpoons \quad \underline{163 \text{ 円}}$$

3科目免除者の受験料を6,368円に設定した場合でも、増額経費の163円を加算すると6,531円となり、現在の受験料6,500円を超える額となるため、科目免除者の受験料を別途設定することは適当でないと判断した。